

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立倉吉西高等学校

学校長 田中 博幸

評 価 日	令和6年2月19日(月)
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 目標設定について ①本校の教育活動が、地域貢献、社会貢献できる心豊かな人材育成につながっていくことを期待する。 2 評価項目と目標達成のための取組について 3 具体目標について 4 目標達成のための具体方策について (上記2から4の項目については各委員から自由に意見をいただいた。) ①チャレンジグループ活動における地域課題のゴールはどこなのか。課題への回答を提案、実現するためにどのような行動ができるか。高校生の時から地域課題に関心を持ち、大人になっても「倉吉が好き」など地元を大切にする人材に育てほしい。西高の卒業生に期待している。 ②地域との連携において西中学校への学習ボランティアなど行われている。西高の生徒が先生役になって、中学生に勉強を教えることで、高校生、中学生ともに成長できる。特に英語の学力を中学、高校ともに高めていけるとよい。 ③著作権が切れた書籍が多くあり、デジタル書籍で読むことができる時代になった。デジタル書籍の積極的な活用を推奨。 ④地元だけでなく、他地域の方と交流することで新たな発見がある。社会人として仕事をしているが、今でも他地域の方との交流で、地元の良さの再発見や新たな魅力を知ることがある。生徒のみなさんもぜひ、他地域との交流をしてほしい。 5 その他 特になし	1 ①今年度の重点目標5項目の中間反省をもとに、目標達成のための方策を実施している。特に、後期は「S2 フィールドワーク関西」、「S1 フィールドワーク鳥取」など探究活動を深めることができた。 (2から4の項目については各委員からの意見に対して学校側がそれぞれ回答した。) ①チャレンジグループ活動は本校の特色の一つである。継続して教育目標である地元貢献できる人材を継続して育成してゆく。 ②本校生が先生役になって、中学生に勉強を教えることは生徒の成長に大きくつながっている。今後も中高の連携の充実、及び学習ボランティアを行っていきたい。 ③デジタル書籍の活用を含め、図書館活用の充実を図る。また、次年度は朝読書の時間に洋書の多読など、新たな取組にも力を入れていく。 ④探究活動グループを中心に現在校外での交流の機会を集約している。次年度は生徒の校外での活躍の場が増加する予定。